

## \*データのご利用にあたって

- ・データポリシー JAMSTEC
- ・データ責任者 村田 昌彦 (海洋研究開発機構)
- ・データの利用制限 データ利用の制限については [注意事項](#) をご参照ください。
- ・引用方法 データの引用については [注意事項](#) をご参照ください。

## 品質

PI-Processed

## 観測機器

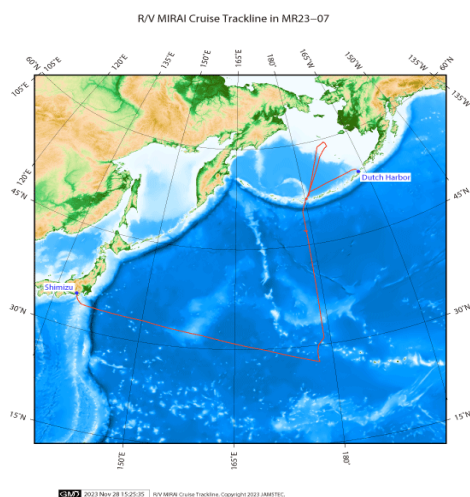
機器名

大気海水CO<sub>2</sub>連続測定装置 (MR20-05C -)

## このデータについて

観測データ及びセンサーの詳細は、クルーズレポート (DOI: 10.17596/0003832) 及びデータブック "WHP P14N REVISIT IN 2023" (DOI: 10.17596/0004015) をご参照ください。

## 関連情報



### MR23-07

期間：

みらい

2023/10/06 - 2023/11/08

主席/首席：

勝又 勝郎（海洋研究開発機構）

課題名：

北太平洋亜寒帯循環の定量的観測実験 — GO-SHIP 観測 P14

有機アルカリ度の観測

生物地球化学観測フロートの投入

GO-SHIP型観測と組み合わせる微生物観測

北太平洋におけるヨウ素・ヨウ化物分布

北部太平洋におけるマイクロプランクトンの栄養戦略

北太平洋・ベーリング海における鉛直混合の実態と熱塩物質輸送

北部太平洋環境変動捕捉のためのフロート投入

多環芳香族炭化水素・ラジウム・セシウム

北部太平洋の雲・降水システムの多角的観測

北太平洋のヨウ素スペシエーションと尿素・アンモニア・亜硝酸塩

全米海洋学パートナーシップ計画の一部をなす全球内部波計画による EM-APEX 型フロート投入

準天頂衛星による GPS 補強データの受信実験

## pCO<sub>2</sub> FORMAT\_J フォーマット

### Air-xCO<sub>2</sub>

このデータセットはカンマ区切り(csv)です。  
データの欠損は、「-999」で表しています。

No.	Content	Unit	Remarks
1	日付 (UTC)		年月日
2	時刻 (UTC)		時分秒
3	緯度	度	北緯は+、南緯は-マイナスで表記
4	経度	度	東経で表記 (例：西経150度30分は209.500度)
5	海面水温	°C	
6	海面塩分	PSU	
7	気圧	hPa	
8	風向	度	
9	風速	m/s	
10	大気中のCO <sub>2</sub> 濃度	ppmv	

### Sea-xCO<sub>2</sub>

このデータセットはカンマ区切り(csv)です。  
データの欠損は、「-999」で表しています。

No.	Content	Unit	Remarks
1	日付 (UTC)		年月日
2	時刻 (UTC)		時分秒
3	緯度	度	北緯は+、南緯は-マイナスで表記
4	経度	度	東経で表記 (例：西経150度30分は209.500度)
5	海面水温	°C	
6	海面塩分	PSU	
7	平衡器内水温	°C	
8	平衡器内圧力	hPa	
9	気圧	hPa	
10	平衡器内における海水のCO <sub>2</sub> 濃度	ppmv	
11	平衡器内における海水のCO <sub>2</sub> 分圧	μ atm	
12	表面海水中のCO <sub>2</sub> 分圧	μ atm	
13	表面海水中のCO <sub>2</sub> 濃度	ppmv	